

交通安全教育を支援する機関・企業等

機関・企業・団体名	テーマ	対象
一般社団法人日本自動車連盟滋賀支部	J A F 交通安全教室	小 中 高
一般社団法人日本自動車連盟滋賀支部	J A F ドレミぐるーぶ滋賀 交通安全教室	幼
一般社団法人日本損害保険協会近畿支部	通学路（校区内）における安全マップ作り	小
公益財団法人滋賀県交通安全協会	楽しく学ぶ交通安全教育	幼 小 中 高
佐川急便株式会社	さがわきゅうびん交通安全教室・環境（物流）授業	幼 小
ヤマト運輸株式会社滋賀主管支店	こども交通安全教室	幼 小 中 高

「自転車安全利用指導員」による講話や自転車シミュレーター等による交通安全教室など、発達段階に応じて対応していただけます。

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課「学校支援メニュー」より

地元の自動車学校と連携して交通安全教室を実施している学校もあります。

まずは、[におねっと](#) [検索](#) [Click!](#) [滋賀県学習情報提供システム「におねっと」](#)は、県内の学習情報を紹介するサイトです。

活用できるDVDや教材等例

**小学校教職員
研修資料(DVD)**



企画 文部科学省
(平成21年3月 文部科学省)

**中学校・高等学校教職員
研修資料(DVD)**



企画 文部科学省
(平成22年3月 文部科学省)

**自転車安全利用のために
(リーフレット)**



小学生用 (平成28年6月 交通戦略課)

**滋賀県交通戦略課の
ホームページからダウン
ロードできます。**



中学生・高校生用 (平成27年2月 交通戦略課)

小学生向け交通安全教育動画(DVD)
基本編(1~3年) 発展編(4~6年) 保護者編



JA共済
(平成28年3月 JA共済)

**生徒向け
自転車交通安全教室動画(DVD)**



JA共済
(平成25年3月 JA共済)

**交通事故被害対応シミュレーション
(プレゼンテーション)**



保健体育課
(平成29年3月 保健体育課)

スタントマンが交通事故を再現する「スケアードストレイト技法を用いた交通安全教室」の動画やその他授業で活用できる動画、ワークシートが収録されています。それぞれJA共済ホームページよりダウンロードができます。

DVDや紙芝居等の貸し出し

機関・団体名	連絡先
におねっと(滋賀県学習情報提供システム)(DVD)	077-528-4652
滋賀県土木交通部交通戦略課交通安全対策室(DVD・紙芝居)	077-528-3682
滋賀県警察本部交通部交通企画課(DVD等)	077-522-1231(代)
公益財団法人滋賀県交通安全協会(DVD)	077-585-2750

交通安全クイズ (内閣府) 自転車交通安全クイズ (交通戦略課)



滋賀県の学校・園における交通安全教育

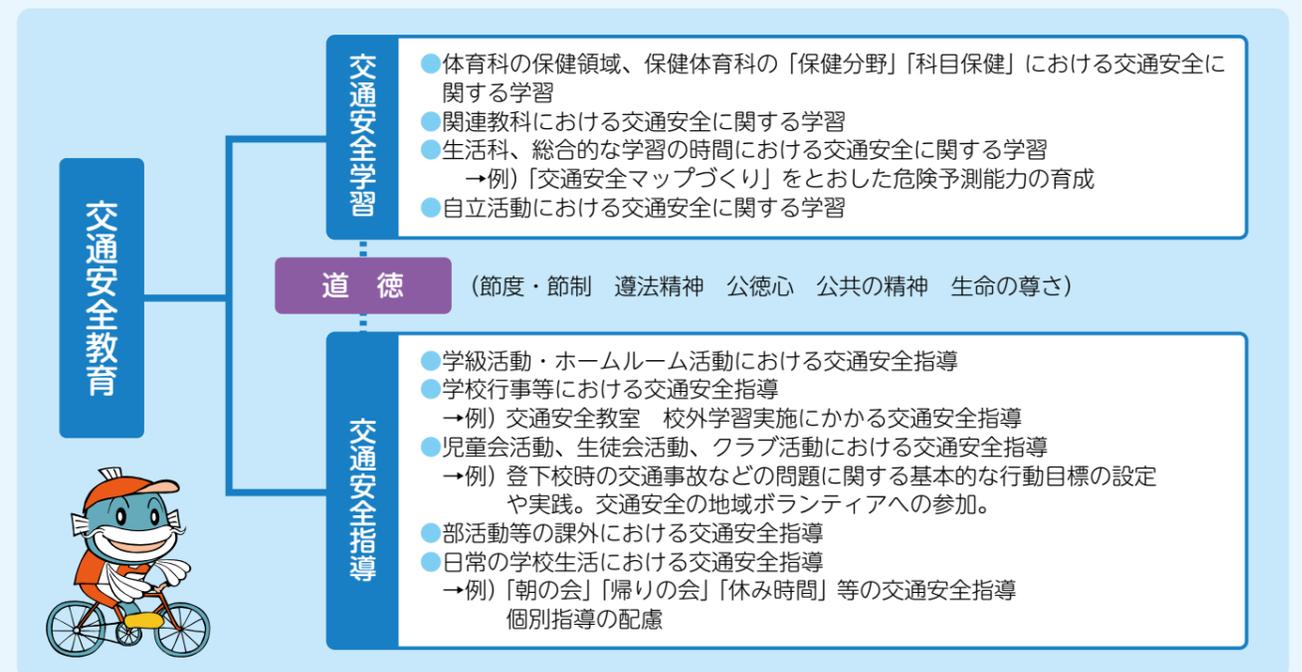
～危険予測を中心とした、事故に遭わない交通安全教育の充実～

交通安全教育の目標

幼稚園	基本的な交通ルールを遵守し、交通マナーを実践する態度を習得させるとともに、日常生活において安全に道路を通行するために必要な基本的な技能及び知識を習得させる。
小学校	歩行者及び自転車の利用者として必要な技能と知識を習得させるとともに、道路における危険を予測し、これを回避して安全に通行する意識及び能力を高める。
中学校	日常生活における交通安全に必要な事柄、特に、自転車で安全に道路を通行するために、必要な技能と知識を十分に習得させるとともに、道路を通行する際は、思いやりをもって、自己の安全ばかりでなく、他の人々の安全にも配慮できるようにする。
高等学校	日常生活における交通安全に必要な事柄、特に、自転車の利用者として安全に道路を通行するために、必要な技能と知識を習得させるとともに、交通社会の一員として交通ルールを遵守し自他の生命を尊重するなど、責任をもって行動することができる健全な社会人を育成する。
特別支援学校	幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の指導内容を踏まえ、児童生徒等が自らの障害や心身の発達の状況を理解するとともに、個々の児童生徒等が持っている力を発揮し、交通事故から積極的に自らの身を守る態度を養う。

〔参考文献〕平成28年度 文部科学省交通安全業務計画(文部科学省 平成28年6月)「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育(文部科学省 平成22年3月)

学校教育活動全体を通じた交通安全教育



〔参考文献〕「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育(文部科学省 平成22年3月)

交通安全教育指導上の留意事項

- 学校安全計画や、体育科・保健体育科、生活科、総合的な学習の時間、学級(ホームルーム)活動年間指導計画に位置付け、発達段階に応じた、体系的な交通安全教育を推進する。
- 家庭及び関係機関・団体等との連携・協力のもと、交通安全教育を推進する。
- 知識や技能の習得とともに、道路における危険を予測し、回避する意識及び能力を高める「危険予測学習」を推進する。
・文部科学省のDVD「安全に通学しよう」「安全な通学を考える」の有効活用
- 事故の未然防止とともに、事故遭遇時の対応能力を高める。
・例えば、被害に遭った際の対応、事故目撃時の通報や応急手当等
- 自転車事故の損害賠償事例から、加害事故を起こした場合の責任を理解する。
- 学習した内容を積極的に家庭に発信するなど、保護者の関心を高める工夫をする。
・ヘルメット着用の有効性や自転車損害賠償保険への加入などについての啓発

発達段階に応じた系統的な交通安全教育

各発達段階で指導すべき事項に合わせて、文部科学省のDVD「安全に通学しよう」(小学校・特別支援学校配付)「安全な通学を考える」(中学校・高等学校・特別支援学校配付)の内容を整理しました。DVDの有効活用をお願いします。
このDVDは小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に配付されています。

項目	幼稚園	小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	中学校	高等学校
歩行者・交通社会の一員としての学習	<p>歩行者用の標識 交通事故の原因となる危険な行動</p> <p>交通安全教室の実施</p> <p>歩行者の通る所 歩道、路側帯、道路の右側</p> <p>横断の仕方 信号機の種類と意味、青信号でも右左の確認、変わりそうときは次の青信号を待つ、信号機がない場合(よく見渡せる場所、右左の安全を十分に確認、停止した車両以外の車両の動きにも注意)</p> <p>踏切の通り方 立ち止まり右左の安全を確認</p> <p>雨天時の歩き方 前が見にくくなるような傘の差し方をしない</p> <p>バスや自動車の乗車時 シートベルトやチャイルドシートの着用 車両の直前・直後の横切りの禁止</p>	<p>歩行者用の標識</p> <p>交通安全教室の実施</p> <p>具体的な行動基準(どこで止まり、どのように車を見て、安全を確認するのか?)を、実際にやってみます。</p> <p>(DVD)安全に通学しよう</p> <p>「どうあるべきかた」 ・歩道と路側帯 「おうだんぼどうのわたりかた」 ・止まる 見る 確かめる 「とびださないためにかんがえること」 ・止まる 見る 確かめる 「しんごうきのあるこうさてん」 ・青信号・点滅・赤信号 ・信号を待つ場所 「みえない『まがりかど』」 ・止まる 見る 確かめる 「みえない『くるまのかげ』」 「ほどうがあるいているとき」 ・店に出入りする車を確認 「ふみぎりのわたりかた」 ・遮断機 警報器</p>	<p>歩行者用の標識・表示</p> <p>交通安全教室の実施</p> <p>夜間に歩く場合 目立つ色の服装や反射材</p> <p>(DVD)安全に通学しよう</p> <p>「横断歩道をわたる」 ・止まる 見る 確かめる ・手をあげる目的 「『止まる 見る たしかめる』をわすれるとき」 「ルールを守るのは自分」 「まとめ『横断を考える』」 (ワークシート)</p> <p>児童や地域の実態に応じ、右の自転車安全利用五則を参考に自転車の安全指導を行う。</p> <p>この段階で自転車での行動範囲が急速に広がり、自転車事故被害が増えます。</p> <p>(DVD)安全に通学しよう</p> <p>安全に通学しよう ～自分で身を守る、みんなを守る～ (平成25年3月文部科学省)</p>	<p>幼児、低学年児童、高齢者および視覚・身体の不自由な人の安全 小さい子や高齢者の行動特性、白杖や黄色い杖、盲導犬および点字ブロックなどの意味、困っている人へ手を貸す 事故被害に遭ったら 集団登下校のリーダーとして</p> <p>(DVD)安全に通学しよう</p> <p>「歩行者の安全も考える」 ・歩行者優先(高齢者・小さい子どもの行動予測)</p> <p>交通安全教室の実施</p> <p>交通安全指導警告票交付状況の活用</p> <p>(DVD)安全に通学しよう</p> <p>「自転車道で道路を走る」 「『止まる 見る 確かめる』を忘れるとき」 「歩道を走っているとき」</p>	<p>交通社会の一員としての自覚 小学生や地域からどのように見られているのか 交通事故の責任 加害責任と損害賠償、保険加入義務化 交通安全活動への参加 生徒会活動、警察や交通安全協会との連携、地域の小学生や幼稚園への啓発 幼児、児童、高齢者および視覚・身体の不自由な人の安全 危険な所で困っている人が安全に通行できるように手を貸すなど、自ら進んで保護する 応急手当 事故被害に遭ったら</p> <p>(DVD)安全な通学を考える</p> <p>まずは、自分のこと、地域のことを考えてみよう(ワークシート) ・そう言えばある!「ヒヤリ」「ハッ」とした経験 「気持ちを意識してみよう!」(動画、ワークシート) ・ストレス診断テスト・「ふだんの自分」の心理テスト・「焦り」をコントロールする 「地域の安全を守る役」(動画、ワークシート) ・子どもは見ている・見えている世界が違う・他人の安全を守る 「自転車の賠償責任、点検・整備等について」(動画、ワークシート) ・道路標識と法律</p> <p>交通安全教室の実施</p> <p>交通安全指導警告票交付状況の活用</p> <p>(DVD)安全な通学を考える</p> <p>自分の乗り方は安全か?(動画、ワークシート) ・見通しの悪い交差点・一時停止の標識のある交差点・歩道での走行 ・信号のある交差点の横断・朝の校門付近・夕暮れの帰り道 「自転車の賠償責任、点検・整備等について」(ワークシート) ・事故を防ぐにはメンテナンスも必要</p>	<p>交通社会の一員としての自覚 障害者・高齢者等から自分たちはどのように見られているのか 交通安全対策の概要 交通事故を防止するための施策 交通社会の一員としての自覚 道路でしてはならない行為、周囲の人の迷惑になる行為等の理解 運転者の責任 高度の注意義務、交通事故発生時の民事、刑事、行政上の責任 交通安全活動への参加 生徒会活動、警察や交通安全協会との連携、地域の小学校や幼稚園への啓発 応急手当 免許取得に向けて</p> <p>(DVD)安全な通学を考える</p> <p>生徒の安全な通学のための教育教材として各中学校、高等学校、特別支援学校、教育委員会に配付されています。 たくさんのワークシートも収録されているため、そのまま授業で活用できます。 (平成24年3月文部科学省)</p>
	自転車安全利用の学習	<p>【幼児への交通安全教育留意事項】 指導の「具体性」 例えば、「止まる」の大切さを言葉で伝えても、どの位置で止まるのかが幼児には十分に理解できません。この場合、モデリングによる学習方法(観察学習)が有効です。お手本となる行動を大人が示し、子どもはそれを観察し、模倣することで、「止まる」という行動を具体的に学習することができます。</p> <p>家庭との連携 自転車利用時のヘルメット着用や、幼児用座席のシートベルトの着用等、幼児の交通安全における保護者の役割は大変大きいものです。保護者に対する研修会や親子交通安全教室などの実施が有効です。</p> <p>潜在する危険の認知・予測 しばしば幼児の交通事故にみられますが、道路の向かい側に保護者や友達を発見すると、車の往来に関係なく一目散に走り出してしまいます。交通場面には、隠れた危険が潜在しているので、実際の道路場面はもとより、スライドや絵などを用いて、潜在する危険を認知・予測する教育は有効です。</p> <p>教材の工夫 紙芝居や絵本の読み聞かせ、人形劇、DVD等の視聴覚教材の利用、ゲストティーチャーの招聘など、短時間で効果的な方法で指導します。</p>	<p>道路外の安全な場所での自転車運転練習 体格に合わない自転車の乗用禁止</p> <p>児童の安全な通学のための教育教材として各小学校、特別支援学校、教育委員会に配付されています。 交通安全以外にも、生活安全(防犯)、災害安全(防災)の動画もあります。いずれも短時間なので、帰りの会などでも活用できます。</p> <p>(DVD)安全に通学しよう</p> <p>「まとめ『おうだんをかんがえる』」 (ワークシート)</p> <p>DVDで学んだことをもとに、ワークシートを用いて危険予測の学習を行います。</p>	<p>DVD等を活用した危険予測学習 校区にある「見通しの悪い交差点」などの危険箇所 交通安全マップづくり</p> <p>(DVD)安全に通学しよう</p> <p>「とび出さないために考えること」 「信号機のある交差点」 ・左折・右折してくる自動車 ・青信号でも確かめる ・内輪差 「見えない『曲がり角』」 ・見通しの悪い交差点 「見えない『車のかげ』」 「歩道を歩いているとき」</p> <p>DVDで危険予測の練習をした後、校区の画像を使って危険を予測し、その回避方法(どこで止まり、どのように車を見て、安全を確認するのか?)を交通安全マップにまとめます。</p>	<p>交通安全教室の実施</p> <p>交通安全指導警告票交付状況の活用</p> <p>(DVD)安全に通学しよう</p> <p>「急に変更をしない」 「見通しの悪い交差点」 ・「止まれ」の標識に従う 「危険を予測する」</p> <p>交通安全教室の実施</p> <p>交通安全指導警告票交付状況の活用</p> <p>(DVD)安全な通学を考える</p> <p>危険を予測する力を付ける! (動画、ワークシート) ・難易度★から★★★★までの18場面</p>	<p>交通安全教室の実施</p> <p>交通安全指導警告票交付状況の活用</p> <p>(DVD)安全な通学を考える</p> <p>危険を予測する力を付ける! (動画、ワークシート) ・難易度★から★★★★までの18場面</p>
危険予測・危険回避の学習						

※特別支援学校における留意事項…交通安全は日常の社会生活をする上での基本的な事項であり、直接、生命にかかわることなので、児童生徒等の実態を的確に把握し、登下校の場だけでなく、その状況に合わせて指導する必要があります。

【参考文献】交通安全教育指針 普及版(財団法人全日本交通安全協会 平成27年5月)「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育(文部科学省 平成22年3月)